

“議長交代、発言 言語道断だ!!”

共産党・小池書記局長が批判

日本共産党の小池晃書記局長は7月29日、党本部で記者団から、自民党の萩生田光一幹事長代行が右派系インターネット番組で安倍改憲のために「三権の長」の一人である衆院議長の交代も必要との認識を示した発言について問われ、「言語道断だ」と厳しく批判しました。



萩生田幹事長代行（安倍首相側近）の発言

●「(衆院憲法審査会を動かすために)有力な方を議長において憲法改正シフトを国会が行っていくというのが極めて大事だ」

●「(現衆院議長について)立派な方だが、どちらかという調整型だ」

改憲策動の 行き詰まりあらわ

小池氏は、萩生田氏の発言について「自民党の改憲策動というのは、自分たちが立てた議長が邪魔になるくらい行き詰まっているということだ。いよいよ改憲そのものが行き詰まっている」と指摘。「そもそも首相側近が議長人事に口を出すこと自体が、議会制民主主義の根本、三権分立の根本的な理念を乱暴に踏みこむものだ」と批判しました。

小池氏は、野党と市民連合の政策合意で、安倍政権による9条改定に反対し、改憲発議そのものをさせないことで一致していると強調し、その立場で全力を尽くすと表明しました。

市民+野党で安倍改憲ストップ!!

参議院選挙では、野党共闘で自民・公明・維新などの改憲勢力を3分の2割れに追い込みました。「性急な改憲ノー」が民意です。共闘をさらに前進させ、安倍改憲をとめましょう。



参議院議員(東京選挙区選出)
やまぞえ・たく

山添 拓

日本共産党

東京
民報

ご連絡・ご要望は 03-5972-1621、FAX 03-5972-1590
2019年7・8月号外 日本共産党東京都委員会の見解を紹介します。
発行/東京民報社(港区芝1-4-9 平和会館5階) 1965年11月12日第三種郵便物認可

「議長交代、発言 言語道断だ!!」

共産党・小池書記局長が批判

日本共産党の小池晃書記局長は7月29日、党本部で記者団から、自民党の萩生田光一幹事長代行が右派系インターネット番組で安倍改憲のために「三権の長」の一人である衆院議長の交代も必要との認識を示した発言について問われ、「言語道断だ」と厳しく批判しました。



萩生田幹事長代行（安倍首相側近）の発言

●「(衆院憲法審査会を動かすために)有力な方を議長において憲法改正シフトを国会が行っていくというのが極めて大事だ」

●「(現衆院議長について)立派な方だが、どちらかという調整型だ」

改憲策動の 行き詰まりあらわ

小池氏は、萩生田氏の発言について「自民党の改憲策動というのは、自分たちが立てた議長が邪魔になるくらい行き詰まっているということだ。いよいよ改憲そのものが行き詰まっている」と指摘。「そもそも首相側近が議長人事に口を出すこと自体が、議会制民主主義の根本、三権分立の根本的な理念を乱暴に踏みにじるものだ」と批判しました。

小池氏は、野党と市民連合の政策合意で、安倍政権による9条改定に反対し、改憲発議そのものをさせないことで一致していると強調し、その立場で全力を尽くすと表明しました。

市民+野党で安倍改憲ストップ!!



参議院議員(東京選挙区選出)

やまぞえたく

山 添 拓

東京
民報

ご連絡・ご要望は 03-5972-1621、FAX 03-5972-1590

2019年7・8月号外 日本共産党東京都委員会の見解を紹介します。

発行/東京民報社(港区芝1-4-9 平和会館5階) 1965年11月12日第三種郵便物認可

日本共産党